

# スポーツ史 学会だより

第107号

2012年12月20日発行

スポーツ史学会事務局

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学 保健体育講座 井上研究室内

TEL & FAX : 0742-27-9230(直通)

E-mail : kinoue@nara-edu.ac.jp

<http://sportshistory.sakura.ne.jp/>

## I. 事務局報告

### 1. スポーツ史学会第26回大会の開催

本年度の学会大会は12月1・2日に、甲南大学岡本キャンパスを会場に開催されました。

第1日目には7題の一般発表があり、その後にシンポジウム「現代スポーツの苦悩を探る」が開催されました。シンポジウムでは、鶴木千加子会員の司会で、「スポーツにおける英国のミッションは終わったのか？」をテーマに井野瀬久美恵氏(甲南大学)の基調講演が行われました。またそれを受けてコメンテーターの稲垣正浩会員、橋本一径氏(早稲田大学)による発表とディスカッションが行われました。その後、会場を移して行われた懇親会とともに、盛会のうちに終了しました。

第2日目は9題の一般発表があり、最後に平成24年度「スポーツ史学会学会賞」表彰式ならびに総会が開かれました。

### 2. 平成24年度「スポーツ史学会学会賞」表彰式ならびに総会について

平成24年度総会は、12月2日の一般発表終了後、午後2時5分から開催されました。なお、総会に先立ち平成24年度「スポーツ史学会学会賞」表彰式が行われました。これらの内容について、ご報告いたします。

#### 平成24年度「スポーツ史学会学会賞」表彰式

松尾選考委員より選考結果の報告がなされ、藤井英嘉会長より新井博会員(学会賞)、及川佑介会員(奨励賞)に賞状ならびに楯が授与されました。

#### ○ 学会賞 : 新井 博 会員

『レルヒ 知られざる生涯 日本にスキーを伝えた将校』、道と書院、2011年

#### ○ 奨励賞 : 及川佑介 会員

『松本幸雄と『籠球研究』(昭和9~11年) - 日本バスケットボール史の一齣 -』、叢文社、2011年

#### 総会について

##### 1. 会長挨拶

2. 議長選出 松井良明会員が選出されました。

##### 3. 報告事項

###### 1) 会況報告(事務局)

8月10日現在の会況について、下記の通り報告がありました。

会員総数211名 1機関

正会員187名 学生会員24名 賛助会員1機関

###### 会費納入状況

平成25(2013)年度納入者数 4名

平成24(2012)年度納入者数 106名

平成23(2011)年度未納者数 31名

平成22(2010)年度未納者数 8名

平成21(2009)年度未納者数 0名

会費収入総額 1,143,000円

###### 2) 平成24(2012)年度事業・会計中間報告について(事務局)

総会配布資料に基づいて事務局より今年度の事業・会計中間報告が行われました(【資料1-1】【資料1-2】)。

### 3) 編集委員会報告(編集委員)

編集委員より『スポーツ史研究』第26号には、原著論文8編、研究ノート1編、第25回学会大会シンポジウム再録原稿の投稿があり、第26号への掲載を目指したいが、5月31日以降の投稿論文4編については第27号への掲載に向けて編集作業を進める旨報告された。また、第26号の巻末に掲載する「会員活動報告」(平成24年度修士・博士論文を含む)のための用紙を「学会だより」第107号に同封するので、記入のうえ返送してもらいたい旨もつけ加えられました。

### 4) 役員改選選挙結果の報告

選挙管理委員長より平成24(2012)年度役員改選選挙の結果が以下のように報告されました。

投票者数59 有効投票数59

会長 : 高橋幸一 次点: 松本芳明

理事 : 船井廣則、鶴木千加子、福地豊樹、遠藤保子 次点: 谷釜尋徳

監事 : 松浪健四郎、野々宮徹 次点: 松本芳明  
なお野々宮徹会員が辞退したため、次点の松本芳明会員が監事となりました。

### 5) 会報「ひすぽ」について(企画担当理事)

企画担当理事より、「ひすぽ」の発行状況について、82、83号が発行済みであり、84号の原稿は1月末締め切りで募集し、年度内に発行予定であることが報告されました。

### 6) 次期学会大会について(学会担当理事)

企画担当理事より、来年度第27回大会の当番校について、理事会で協議の結果、東洋大学(松尾順一会員)に決定したことが報告されました。

### 7) 「文書・書誌類」管理に関する申し合わせについて(事務局)

事務局内の文書・書誌類の管理、取り扱いを定めた申し合わせについて報告されました。

## 4. 審議事項

### 1) 平成23(2011)年度事業・決算報告について

### (事務局)

総会配布資料に基づき、事務局より昨年度の事業報告が行われました(【資料3-1】)。審議の結果、平成23年度スポーツ史学会会計収支決算報告書および「学会活動準備金」収支決算報告書が原案どおり承認されました(【資料3-2】、【資料3-3】)。

### 2) 平成25(2013)年度事業計画・予算案について(事務局)

総会配付資料に基づき事務局より来年度の事業計画および予算案が提案されました(【資料4】)。審議の結果、原案どおり承認されました。

### 3) 『スポーツ史研究』投稿規程案・執筆要項案について(編集委員)

総会配布資料に基づき編集委員より『スポーツ史研究』投稿規程改正案および執筆要項改正案が提案され(【資料5-1】【資料5-2】【資料5-3】【資料5-4】)、審議の結果、一部修正の上承認されました。

改正されました投稿規程、執筆要項は以下のとおりです。アンダーラインの部分が今回改正になった部分です。(なお、投稿規程10の2)のカッコ内および14におきましては、総会資料ではアンダーラインを記載しておりましたが、平成22年度にすでに改正されておりました。訂正しお詫び申し上げます)。

### 『スポーツ史研究』投稿規程

1. 『スポーツ史研究』編集委員会規程12に基づき本規程を定める
2. 投稿は正会員および学生会員とする
  - 2) 編集委員会は投稿を依頼することができる
  - 3) 編集委員会は非会員が含まれる投稿の可否を決定する
3. 内容はスポーツおよび体育の歴史に関する原著、総説、資料、研究ノート、その他とし、完結した未発表のもので、他誌に投稿中でないものに限る
  - 1) 「原著」とは信憑性、整合性のある研究手続きに基づく独創的知見の提示をいう
  - 2) 「総説」とは特定の課題に関する文献の体系的展望をいう
  - 3) 「資料」とは研究上重要な価値を有する未見の史

・資料の提示と解説をいう

4) 「研究ノート」とは信憑性、整合性の若干の不備を合理的仮説で補充した独創的知見の提示をいう

5) 「その他」とは研究に資する提言及び問題提起、書評、内外研究動向、論評などをいう

4. 原著・総説原稿は刷上がり12頁(22字40行2段組、400字詰50枚相当)、資料・研究ノートは6頁(25枚相当)、その他は2頁(8枚相当)以内を原則とする

2) 原稿には図・表・写真を含む

5. 超過頁分および特殊印刷の経費は投稿者負担とする

2) 負担額概算は初校送付時に通知する

6. 図は縮図して掲載する(鮮明な墨入れに留意のこと)

2) 写真は原則として白黒画面印刷とする(多色刷が必要な場合は、投稿時に朱書きで指示のこと)

7. 図・表・写真の掲載位置は本文の左欄外に朱書きする(割付の関係で若干変動することがある)

8. 図・表は1点ごとに見出しを記入し、必要があれば白紙に添付し、複数の場合は一連番号を記入する(複本の写真は複写でよい)

2) 写真は1点ごとに見出しを記入した白紙に貼付し、複数の場合は一連番号を記入する(副本の写真は複写でよい)

9. 執筆要領は別に定める

10. 投稿は原稿正本1部と副本3部の合計4部とする

2) 正本には表紙を添付し、原稿の種類(区分)、和欧文による題目、執筆者名、所属機関名を記載する(欧文執筆者名の書式は姓(すべて大文字)名(先頭のみ大文字)の順とする)

3) 執筆者名、所属、謝辞等の記載は正本のみとし、副本には記載しない(副本に記載した場合は、受理しない)

11. 投稿先は「スポーツ史学会編集委員会」とする

12. 採否および掲載の順序は編集委員会が決定する

13. 掲載が許可された原稿は、ファイルの保存形式を示して、CDまたはUSBメモリ他のメディアにて速やかに事務局に送付する

14. 本誌に掲載された論文(原著・総説・資料・研究

ノート・その他)の著作権は、本学会に帰属するものとする。ただし、著者が論文の全文またはその一部を非営利・教育研究目的に利用する場合はこれを妨げない。なお、その利用に際してはその著作物が本学会誌に掲載されたものであることを明記しなければならない。

#### 『スポーツ史研究』執筆要領

1. 『スポーツ史研究』投稿規程9に基づき本要領に沿って執筆すること

2. 原稿は、A4判横書40字20行(余白20mm以上)の書式とする

3. 原稿には、表紙および欧文抄録(和文訳を含む)を除いて通し頁番号をつけること

4. 本文は現代かな使いとする

2) 外国語のかな表記はカタカナとする

5. 出典等文献および註は本文当該箇所の右肩に一連番号を記入して本文末尾に引用順に記載する

2) 単行本は著者・書名・(版数)・発行所・発行年・頁の順に記載する

3) 雑誌は著者・題名・雑誌名・巻号・頁・発行年の順に記載する

4) 新聞は見出し・新聞名・発行年月日・(頁)の順に記載する

5) 復刻版は原典記載の末尾に[書名・発行所・発行年]を記載する

6. 原著・総説は本文の他600語以内の欧文抄録(和文訳とも)を添付する

2) 欧文抄録は印字体でダブルスペースとする

3) 欧文抄録は当該語学専門家もしくはネイティブ・スピーカーの校閲を受けて提出する

7. 採択原稿の著者校正は初校のみとする

8. 別刷希望者は初校刷の欄外上に必要部数を朱記する

2) 費用は著者負担とする

5. 閉会の挨拶

### 3. 2012(平成24)年度会費納入のお願い

今年度(正会員8,000円、学生会員5,000円)の会費未納の方は、お早めに納入をお願いいたします。昨年度以前の会費未納入の方におかれましても今年度中の納入をお願いいたします。

なお、会費納入状況等について疑問がおありの場合には、ご面倒ですが事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座 : 00940-7-282457 加入者名 : スポーツ史学会
---

### 4. 日本学術会議刊行物

月刊『学術の動向』2012年10月～12月号が事務局に届いております。目次のコピーを同封いたしますので、関心をお持ちの方はご連絡ください。なお、特集記事は<http://www.scj.go.jp>からも閲覧可能です。

### 5. 「会員活動報告」の連絡について

『スポーツ史研究』第26号の巻末に掲載する「会員活動報告」の用紙を同封しますので、平成24年の研究活動(修士・博士論文は平成23年度を含む)をご記入のうえ、来年1月31日までに事務局まで提出していただきますようお願いいたします。

### 6. スポーツ史学会学会賞の推薦について

平成25年度スポーツ史学会学会賞の候補論文(著書を含む)の推薦依頼書を同封いたしますので、ふらつてご推薦ください。学会賞、奨励賞ともに、2名以上の会員の連名で推薦することができます。推薦の際には、応募書式(推薦書式)に沿って作成した推薦書を、来年2月末日までに事務局までご郵送下さい。

今回は、平成24年1月1日から12月31日までに刊行された『スポーツ史研究』、その他の学術雑誌の論文および学術的著書が対象となります。著者(ファースト・オーサー)が本学会員で、内容がスポーツ史に関連するものに限られます。

### 7. 日本スポーツ体育健康科学学術連合の補助金について

スポーツ史学会第26回学会大会におけるシンポジウム(12月1日開催テーマ:「現代スポーツの苦悩を探る」)について、平成24年度日本スポーツ体育健康科学学術連合の補助金(¥50,000)が交付されましたのでご報告いたします。

なお、次年度学会大会(東洋大学)におけるシンポジウムについても同補助金を申請する予定です。

## II. 理事会報告

### 1. 第117回理事会

第117回理事会がつぎのとおり開催されました。

期 日:12月2日(日) 12時05分～13時05分

場 所:甲南大学岡本キャンパス5号館524教室

出席者:藤井英嘉(会長)、松本芳明(理事長)、大川信行、菅井京子、竹谷和之、松尾順一、松浪稔、三井悦子、井上邦子(事務局)

欠席者 :竹谷和之、嶋木千加子

#### 1. 議事録確認

1) 第116回理事会議事録の確認について

2) メール審議確認

#### 2. 報告事項

1) 会況報告

2) 『スポーツ史研究』第26号編集進捗状況

3) 「ひすぼ」第84号編集進捗状況

#### 3. 審議事項

1) 平成24年度総会の議事進行について

2) 『スポーツ史研究』投稿規程改正案・執筆要項改正案について

3) 会員の入退会について

### 2. 第118回理事会

第118回理事会がつぎのとおり開催されました。

期 日:12月2日(日) 16時15分～17時30分

場 所:甲南大学岡本キャンパス5号館524教室

出席者:高橋幸一(会長)、嶋木千加子、大川信行、菅井京子、福地豊樹、船井廣則、松尾順一、三井悦子、井上邦子(事務局)

欠席者:遠藤保子

## 1. 審議事項

### 1) 会務、委員会分担について

改選選挙にともない新理事会が発足し、会務および委員会が下記のとおり決定されました。

理事長 松尾順一(H24総会よりH25総会まで)

三井悦子(H25総会よりH26総会まで)

・会務

渉外 大川信行(正)、鶴木千加子(副)

企画 菅井京子(正)、遠藤保子(副)

庶務 松尾順一(正:H24総会よりH25総会まで)、  
三井悦子(正:H25総会よりH26総会まで)、  
福地豊樹(副)

編集 船井廣則(正)、三井悦子(副:H24総会より  
H25総会まで)、松尾順一(副:H25総会より  
H26総会まで)

庶務・会計(事務局)井上邦子

・委員会

企画委員会 菅井京子(委員長)、大川信行、鶴木千  
加子、遠藤保子

編集委員会 船井廣則(委員長)、三井悦子(H24総  
会よりH25総会まで)、松尾順一(H25総会より  
H26総会まで)、遠藤保子、福地豊樹

HP委員会 大川信行(委員長)、鶴木千加子、船井廣  
則、松浪稔(理事以外の委員)

### 2) 年間計画について

### 3) 日本スポーツ体育健康科学学術連合の補助金 について

## III. 編集委員会報告

### 1. 『スポーツ史研究』第26号の編集進捗状 況について

11月1日現在、原著論文8編、研究ノート1編、第25  
回学会大会シンポジウム再録原稿の投稿があった。で  
きるかぎり26号への掲載を目指したいが5月31日以降  
の投稿論文4編については第27号掲載に向けて編集  
作業を進めます。機関誌に関するご意見、ご感想、ご  
要望等がありましたら編集委員長までお寄せ下さい。

## 2. 『スポーツ史研究』へのご投稿

『スポーツ史研究』への投稿は随時受け付けており  
ます。投稿規程ならびに執筆要領は『スポーツ史研  
究』の見開きに掲載されていますので、投稿前に必ず  
ご確認下さい。

投稿先は、次のとおりです。ふるってご投稿下さい。

〒484-8503 愛知県犬山市内久保61-1

名古屋経済大学短期大学部 船井研究室内

スポーツ史研究編集委員長 船井廣則

Tel:0568-67-4520(研究室直通)

0568-67-0616(大代表)

## IV. 会報「ひすぼ」報告

### 1. 「ひすぼ」第84号の原稿募集について

次号「ひすぼ」第84号の特集テーマは、『『スポーツ  
基本法』の一年』となっております。締め切りは**平成25  
(2013)年1月末日**です。多くのご投稿をお待ちして  
おります。

なお、「ひすぼ」の内容は特集テーマ以外にも、論  
壇、自由テーマ、図書紹介、スポーツ博物館めぐり、内  
外の学会・研究会情報などがあります。電子メールで  
の投稿(事務局宛)をよろしくお願いいたします。

### 2. 「ひすぼ」特集テーマの募集について

現在、第85号以降の特集テーマを募集しております  
ので、事務局までお寄せください。皆様からの積極的  
なご提案をお待ちしております。

## V. 会員の動向

### 1. 入会・退会

1)次の方の入会が承認されました。

正会員

松田謙次郎(神戸松蔭女子学院大学)

河野文子(筑波大学附属桐が丘特別支援学校)

学生会員

松本彰之(日本体育大学大学院)

2)次の方の退会が承認されました。

湯浅有紀子(早稲田大学大学院スポーツ科学研究  
科)